



防災イベント「灯そう！心のあかり」を開催！ ～震災から21年 今 阪神・淡路大震災に学ぶこと～

と き 1月17日(日)午前11時から正午まで

と ころ ココネリ3階 ココネリホール(練馬区練馬1-17-1)

17日、区は練馬駅北口のココネリ(練馬1丁目)で、防災イベント「灯そう！心のあかり」を開催した。日頃から小学校等で防災教育を行っている「心のあかりを灯す会」と区の共催。

会場には親子連れなど約170人が訪れ、ユーモアあふれる防災人形劇や防災クイズなどに参加し、楽しみながら防災の大切さについて学んだ。また、児童が阪神・淡路大震災で被害にあった生徒の作文を朗読し、震災の恐ろしさを伝えた。

子どもと一緒に本イベントに参加した女性は、「当時の被害状況を写真で見ることができ、とても現実味があった。また、災害時どのように行動するか再確認できるいい機会だった。子どもも防災について楽しんで学べたようなのでとてもよかった。」と話してくれた。



【児童による作文朗読の様子】

【内 容】

区内小学校児童による阪神・淡路大震災の作文朗読

区立南町小学校の児童が、阪神・淡路大震災で被害にあった生徒の作文を朗読しながら、当時の被災状況を写真パネルやスクリーンを使って参加者に伝えた。阪神・淡路大震災を知らない世代が増えていく中で、当時の出来事を伝える大変良い機会となった。



【防災人形劇の様子】

防災人形劇

災害用伝言ダイヤルの使用方法、家具の転倒防止や、備蓄の大切さなどについて、人形劇でわかりやすく表現したもので、子どもたちは地震の怖さ、身を守る術や備えの大切さを学んだ。

その他

練馬区公式アニメキャラクターのねり丸と一緒に防災を考える「こんな時どうする？」や、シンガーソングライターの「REN」さんと一緒に手話を交えた合唱を行った。また会場には、手軽に設置できる家具の転倒防止器具や備蓄食品、阪神・淡路大震災の被災状況のパネル等も展示した。



【参加者全員で手話を交えて
合唱を行った様子】

【参考】心のあかりを灯す会について

練馬区防災・安全推進協議会「心のあかりを灯す会」は、区内小中学校のPTAなど保護者が中心となり、防災に関する様々な活動を通じて次世代を担う子どもたちに対し、「命」の大切さや人への思いやりを伝えている団体。普段は区内の小学校、幼稚園、保育園などに区職員と一緒に出向き、人形劇、紙芝居などを使った防災教育を行っている。

【問い合わせ】

危機管理室 区民防災課 区民防災第一係 電話 03-5984-2601